



# NPO 金沢杜の里 NEWS

2023.4 No.43



浅野川湖畔(もりの里2丁目)

## 金沢桜百景



金沢市田上公民館

館長 坂根 功 一

昨年度より館長を務めております坂根功一と申します。日頃より公民館活動にご協力とご支援をいただきありがとうございます。

さて、「趣味はなんですか?」と聞かれると、「旅、ウェブサイト作り、数学の授業、缶ビールコレクション」と答えています。その中の一つ「ウェブサイト作り」のネタの一つに「金沢桜百景」というページがあります。一九九七年から作り始めた金沢の桜の咲く風景を紹介するページです。犀川縁の桜から始めて、今も細々と続けています。

この田上・杜の里地域にも意外とたくさん桜の咲く素敵な景色があります。浅野川縁を歩けば、毎年成長していく桜の木に出会えます。北陸大学に続く道には桜と菜の花の素敵な対比が見られます。田上本町の「馬場公園」で桜に出会えば、公園の名はどうしてつけたのだろうと思ったりもします。小立野へ上がる旭坂から眼下を眺めると、普段は緑色の木々しか目に入らないのに、春の一時だけあちこちに桜色に染まったところが目につき、こんなところにも、そしてこんなにもたくさん桜の木があるんだと感心したりもします。

この地域は自然がたくさん残っている地域です。そして、まだまだ発展を続けていく地域だと思えます。

公民館でも「SDGs講座」を開催し、持続可能な社会について学ぶ機会を設けているところです。これからも、我々の住む地域が自然と人の調和した、住みよい暮らしのできる町となるよう、公民館としても「つどうまなぶ むすぶ」を基本に活動が続けていく所存です。今後ともご協力、ご支援、そして公民館活動への参加をよろしく願います。

# NPO金沢杜の里は緑豊かな「街づくり」を進めています

## 令和4年度活動状況

定款の事業名	事業名
調査・研究事業	調査・研究会 会員の拡大
啓発と普及を図る事業	ニュース（会報）の発行 HP公開による情報公開活動
地域交流など交流連携事業	まちおこしイベント等の開催及び支援事業
環境保全・花いっぱい運動事業	花・緑化推進事業 自然環境整備保全事業 地域美化運動推進事業
その他の事業	まちづくり環境整備受託事業 公共施設管理受託事業

**9月15日**  
浅野川沿い遊歩道他3箇所20基の木製ベンチに腐食防止剤を塗装しました。

実施日	設置箇所	花種類等	プランター数
4月23日	百合の木坂他2箇所	ペコニア (600本)	200基
5月7日	鈴懸坂	ペコニア (240本)	80基
6月11日	若松通、もりの里1丁目	ペコニア他 (360本)	120基
9月3日	若松通、もりの里1丁目	ペコニア (120本)	40基
10月22日	私有地保管 (鈴懸坂)	チューリップ植 (800個)	80基
11月12日	事務所横保管	パンジー植 (480本)	120基
11月26日	鈴懸坂他4箇所	花壇撤去	400基
3月25日	鈴懸坂、もりの里1丁目	チューリップ(800個)、パンジー(480本)	200基

**花・緑化推進事業**  
環境保全・花いっぱい運動事業の一環として、次のとおりプランターを設置しました。



落葉清掃

**12月3日**  
地域美化運動推進事業  
「自らの住む街をきれいに、住みよい街づくり」の一環として、もりの里1丁目交差点から、もりの里1丁目東交差点間の両歩道を、会員が落葉清掃を実施しました。



プランターの撤去

**11月26日**  
プランター撤去  
3月から鈴懸坂はじめ5箇所に配置してきたプランター、400基を冬期間中除雪作業の支障とならないよう撤去しました。



広報誌「金沢杜の里NEWS」

**4月・7月・11月**  
NEWS(会報)の発行  
NPOの各事業を積極的に進める過程や最新の行事等を掲載したNPO金沢杜の里NEWSを年3回発行しました。会員はじめ各町会、団体及び県内のNPO法人へ配布しました。

**毎月**  
公共施設管理受託事業  
会員が毎月輪番制で、もりの里2丁目の緑地小公園の除草、維持管理を行いました。

**6月19日**  
まちづくり環境整備受託事業  
会員が鈴見町郡家山のY氏の依頼を受け、所有地1150㎡の宅地を草刈りしました。

**まちおこしイベントの開催**  
○地域三大祭りの桜祭り、秋祭りはコロナ感染防止で中止。杜の里祭りは雨天中止となりました。  
○7月22日、若松八幡さん公園の樹木16本に名札を設置しました。

## 街の声

「NEWS No.42号(R.4.11)」等のご意見感想から」

☆地域のさまざまな活動報告をみると、こうした活動があるので、地域の顔みしりが増え、地域がきれいになり、暮らせるのだと気づかされました。ありがとうございます。

☆いつも道路公園の美化につとめていただきありがとうございます。希望ですが、催事が降雨などで中止になった際、公園入口に「降雨につき中止」と書いていただけませんか。現場へ行き、人がいないと場所違いかなど迷いますので。

☆杜の里NEWSをいつも楽しく読ませていただいています。11月号に毒キノコの見分け方が載っていて、とても参考になりました。以前に能登でキノコ取りをして、かご一杯に採ったのですが、ベテランの方に見て貰ったら半分以上が食べられないキノコでがっかりしました。気をつけたいと思いますね。

☆公園の清掃やベンチの塗り替え、ブランターの花植えなどの町づくりをして下さっているからこそ、季節の花を愛でているのですね。本当に頭が下がると思います。ケヤキしか分かりませんが、樹木に名札を設置して下さり、色んな木の名前を知る事ができています。ありがとうございます。

☆公園の樹木の名札の取付けに、児童5名の方が参加されたとのことですが、本当に良い経験がされたと思います。樹木にも愛着が湧きます。地域のことが好きになりますね。

☆杜の里地域に勤めるようになって1年となり、地域の方々の美化に取り組んでおられる様子が一巡となりました。明るい路線、花のある路線、毎朝勤めに来ることが楽しみです。

☆「もみじロード」私は勝手に名前をつけて、そう呼んでいます。今が盛りと真っ赤に色づいた「紅葉(もみじ)」を愛でながら走る道は、ぜいたくな気分になります。鈴見から若松三丁目、田上へと続く道です。今年はいつもとより深紅色、鮮やかに行く秋を惜しむかのように美しく感じられます。私の町はこんな素敵な町。

☆年3回届けられる「金沢杜の里NEWS」楽しみに読んでいます。次回はどんな記事かな、どんなかな。「わが町探訪シリーズ」は、この地での出来事、知りえないことが参考になります。

☆今年もコロナ、コロナの1年でした。でも、山々の木は、春には新緑、夏には木々から爽やかな風、秋は真っ赤な紅葉、冬は白銀と、私の心に元気と、勇気を。自然豊かな杜の里。ありがとうございます。

☆今年初めて子供と芋の収穫を楽しみましたが、杜の里児童館では、収穫祭を実施していることお知らせできず申し訳ありません。来年は参加してみたいと思います。自分の判断で採って食べることはないですが、自然毒の話はとも知れず勉強になりました。

## わが町探訪シリーズ24 「下若松地頭職の館」と「領家職代理人の館」

角間川に架かる山側環状の「八幡大橋」辺りは、かつて浅野川と角間川によって形成された河岸段丘で、南北の段丘斜面は旭町(中島)との境界でした。八幡大橋から上流の「太刀橋」辺りと、北方のオコ谷往来(二俣越え街道)までの細長い土地は、「うわたち・上館」、「した(しも)たち・下館」と呼ばれる小字でしたが、本来の館が太刀(橋)となった理由は、電力会社が電柱の位置を示す名札に、「太刀」と書いたのが原因でした。上下の館について若松町の松尾三郎氏は、『昭和20年代中頃の耕地整理のとき、基礎石と思われる石と茶碗の欠片などが多数出土した。当時その茶碗を金沢大学に見てもらった人がいて、400~500年前のものと言われたと聞いている。焼け跡の痕跡はなかった。』と話していました。【たち・館】について辞書は、『貴賓・官吏(かんり=現在の国家・地方公務員)などが宿泊する宿舎か、貴人の邸宅。小規模な砦で河川・沼沢に面する丘陵などを利用した。』また、「古代地方官衙遺跡研究」には、『館は公務により行動する役人の宿泊施設で、郡内に分散して設置されていたという見解が示されている。』とあります。

若松本泉寺時代(1487年~1531年)の1503年2月、室町幕府奉行人大館持房の行状によると、実体は失っていたが、若松に所領を有していました。その7年後の1510年(永正7)11月の「幕府奉行人奉書」に、若松荘領家職は烏丸冬光とあります。若松本泉寺滅亡後の1536年(天文5)10月、幕府奉公衆の町野康定は本願寺の証如にたいし、下若松荘領家職の知行(所領の保証)回復を依頼するが、下若松荘の領家職は烏丸家であると拒否されたため、翌年の4月、再度「下若松荘之事、領家職ハ烏丸知行也、地頭職ハ町野知行候」と申しでると、証如は下若松荘の地頭職は町野康定であると認めています。では、京都(証如は大坂)と若松との連絡はどのように行われていたのだろうか。

「図説・室町幕府」などに、「室町幕府奉行人の職務は、文筆専門職・法曹家として、將軍などの奉書(命令書)の清書が業務で、幕府奉行人奉書は雑掌によって伝達された。また、幕府奉公衆の職務は、將軍の直轄軍として警護にもあたったが、將軍の

直轄領の管理も任されていた。幕府は地方の統治を守護にのみ任していたわけではなく、各地域の情勢に則した地方支配を行っていた。』とあります。領家について「日本史小百科荘園」は、『官衙(かんが=役所)の雑事を扱うのが雑掌(ざっしょう)で、領家は荘園に代理人として預所(あずかりどころ)を現地に派遣した。預所は荘官などを指揮し、年貢の収納や紛争の処理にあたらせたが、必ずしも常駐はしなかった。』とあります。

「室町幕府の外様衆と奉公衆」に、『町野氏は加賀に度々在国している。そこが主たる所領だったのだろう。天文年間(1532~55)でも、加賀の下若松・安田保(松任)・石田荘(藤江)を領としていた。』とあります。若松町のほとんどの小字は若松本泉寺時代の字名であり、立地的にも上下の館は適地といえます。したがって、館の一つは、「幕府奉公衆の町野康定」の宿舎であり、あと一つは、官衙の「雑掌」と、領家職烏丸家の「預所」(近郷の荘園領主代理人も利用)を兼ねた宿泊施設といえます。

※参考・引用文献・若松の歴史と伝説 松尾三郎・図説室町幕府 丸山裕之・荘園 伊藤俊一・角川日本地名大辞典・室町幕府の外様衆と奉公衆 木下聡・日本史小百科 荘園 安田元久・他。

郷土歴史研究家 亀田輝之



若松本泉跡は、「享禄の錯乱」の翌年、念西というお坊さんが念西道場を焼け野原に築きますが、度々火災に遭遇するが、脈々と今に繋がっているのが、現在の専徳寺だと言われています。

## 若松遺跡について

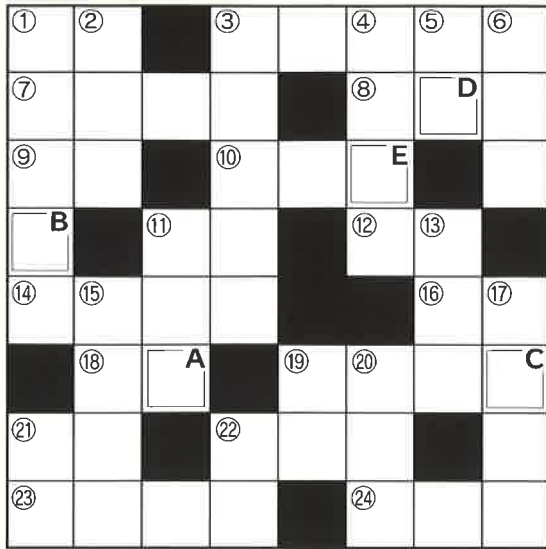
石川郡河北郡境が遺跡から

若松遺跡と古代については、田上西遺跡の発掘から判明した旧浅野川跡です。河北郡(浅川村)と石川郡境は、この旧浅野川に沿って郡境が設定されており、若松遺跡でもそのことは判明しており、郡境は、杜の里小学校の下側、旧下中島が含まれており、旭町の区域は川を越えて存在していました。さて、金沢市でも歴史の古い田上遺跡は、縄文時代早期(1万年前)には存在しており、若松遺跡もその埒外ではありません。縄文時代とは、約1万5,000年前から約2,300年前の期間を指し、旧石器時代と縄文時代の違いは、土器の出現や竪穴住居の普及、貝塚の形式などがあげられる。縄文時代の終わりについては、地域差が大きいものの、定型

的な水田耕作や金属器の使用を特徴とする弥生文化の登場を契機とされています。田上地域は、浅野川中流域に位置し、川の右岸にある卯辰山丘陵と小立野台地の間にあり、6段の河岸段丘と町があり、川に近い1・2段目は標高35~45mを測り、ここを切り盛りし川原石を積んだ棚田が造られていた。3段目は若松町などの集落・田上小学校・シェア金沢・金沢刑務所がある。6段目は移転してきた金沢大学があり、若松遺跡が所在するのは2・3段目で、イオン杜の里を含む周辺である。

(次回は若松遺跡) 資料提供・関戸正彦

# クロスワードパズル



答	A	B	C	D	E
---	---	---	---	---	---

## 応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、4月30日までに、次の所へお送りください。  
〒920-1165 金沢市若松町3-281  
NPO金沢杜の里情報公開委員会係

## 地域の民俗芸能③

### ◆ 田上はんた ◆

この唄は、田上町に伝説されている盆踊りの唄です。「田上じょんがら」、「田上りんりん」同様、田上町青年部の皆さんが中心となって地域の盆踊りの唄を復元しようと保存会を作り、採譜、編曲を加賀山流家元・加賀山昭氏にお願いして再興したのですが、継承していくための保存会も廃れてしまい、現在は、この「田上はんた」だけが『はんたをおどろう会』の有志の皆さんによって、踊り繋がれてきたものです。

地域の皆さんのご理解と協力により、田上公民館が中心となって唄と踊りの再発見につなげてきました。

## 《セットバックの維持管理》

山側環状線沿いの緑地帯(3m)のセットバックは、税法上の利点があります。

## 《意欲ある施策募集》

NPO金沢杜の里は、定款による事業を実施しておりますが、**会員の皆さまに参加していただける意欲ある施策を募集**しています。4月30日までNPO金沢杜の里事務局へご連絡ください。

電話番号 **076-222-7730**  
(水・土曜日を除く平日の午前中)

浅野川の桜も満開の季節になり、新年度がスタートしました。今年度も会員の皆さんと共に、緑豊かな自然環境、景観の保持と花いっぱい運動の街づくり活動を進めて参ります。(編集後記)

## ヨコのカギ

- 必要は発明の〇〇
- 行き止まりになった所
- 奈良県北西部生駒郡の地名
- 変わった珍しい話
- 四方を海岸・潮等で囲まれた陸地
- 次々と移り変わっていくこと
- 家の周りや内部の仕切り
- 生命や健康に害を与えるもの
- 病院等へ通うこと
- 五七七五からなる31音の歌
- 岩よりも小さくて砂よりも大きなもの
- 駅の仕事をする人
- 酒等を入れておく木製の器
- 東北地方の北西部の県
- 子は夫婦の〇〇〇〇
- おごそかなこと

## タテのカギ

- 優れた人を世に出すこと
- 和装で腰より下を覆うように着用する衣服
- 青森等津軽地方で話される方言
- 商人のこと
- 代金の要らないこと
- 山形、青森県産の果物
- 始まること
- おせち料理に使う食材
- ばい菌の一種
- 商店の店先で人目につく広告の板
- 電車や列車が発着する所
- 心待ちにすること
- ワシタカ科のうち比較的小さい鳥
- タデ科の一年草

◎43号の正解者の中から抽選で当選者15名様に粗品を5月上旬に商品の発送をもって代えさせていただきます。

◎43号の解答は、令和5年7月発行の44号に掲載します。

◎42号の解答は「パンシュウ」でした。

## 毒 有毒植物に要注意

山菜狩りなどで誤って有毒な野草を採取し、食べたことにより、**食中毒**が発生しています。有毒植物による食中毒で、**死傷も発生**しています。

食用の野草と確実に判断できない植物は

**絶対に**

**採らない! 食べない!**  
**売らない! 人にあげない!**

△ 家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。  
△ 山菜に混じって有毒植物が生えていることがあります。山菜狩りなどをするときは、一本一本よく確認して採り、調理前にもう一度確認しましょう。

＜食用と間違いやすい有毒植物の例＞

スイセン びび スノーフレーク	バイケイソウ	イヌサフラン	クワズイモ
【中毒症状】 食後30分以内で、吐き気、嘔吐、頭痛など。(スイセンでは、悪心、下痢、流涎、発汗、昏睡、低体温などもある。)	【中毒症状】 嘔吐、下痢、手足のしびれ、めまいなどの症状が現れ、死亡することもある。	【中毒症状】 嘔吐、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難。重症の場合は死亡することもある。	【中毒症状】 悪心、嘔吐、下痢、麻痺、皮膚炎など
【間違えやすい植物】 ・ニラ など (スイセンは、ノビルやタマネギにも間違われやすい)	【間違えやすい植物】 ・オオバキボウ(ワイルド)、ギョウジャニンニクなど	【間違えやすい植物】 (葉) ・ギョウジャニンニク ・ギボウシ と類似。(球根) ・ジャガイモ ・タマネギ など	【間違えやすい植物】 ・サトイモ

厚生労働省ホームページより

## 4月～6月行事予定

### ◎杜の里桜まつり

- ・4月8日(土) 医王の杜公園
- 主催\*若松杜の里祭り実行委員会

### ◎通常総会開催

- ・6月11日(日) 杜の里児童館

### ◎花苗植付

- ・4月22日(土)、6月10日(土)
- いずれも8時30分から行います。
- 皆さまのご参加をお待ちしています。